

【目指す学校像】みんなで どんなときも りかいしあえる学校

【目指す児童像】かしこい子 やさしい子 たくましい子

みどりが丘小だよ！

令和4年3月17日発行
鹿沼市立みどりが丘小学校



学校
ホームページ



～弥生3月 この良き日～

みどりが丘小学校が開校して30年。開校当時、卒業式の計画を立てる段階で、「歌で送り出す卒業式にしよう」ということで、在校生が歌う「ありがとう そして さようなら」と卒業生が歌う「弥生3月 この良き日」の2曲がつけられました。これは、本校のオリジナルソングで、当時の教務主任が作詞・作曲したものでした。

確認したところ、現在も在校生の歌は卒業式で行われているとか！

コロナ禍となってからは、歌を歌うことを制限されてしまったため、ここ2年ほど歌われなくなりましたが、今でも受け継がれていることを知り、何か胸が熱くなりました。

残念ながら今年度も昨年同様の対応という指示が教育委員会から出され、今回も来賓を制限し、歌も自粛、在校生は5年生のみの参加という卒業式になる予定です。

コロナを恨んでも何の解決にもなりません。前を向いて、制限の中で何ができるかを考えながら教育活動を充実させたいと思います。

生き生き教育活動

＜6年生へ東中説明会＞～3. 7（月）～



東中学校から山根先生を講師にお迎えして、中学校での学習や生活、部活動などの説明を受けました。

説明の後、積極的に質問する児童がたくさんいて、山根先生も感心していました。

1ヶ月後には中学校生活が始まる6年生にとって、有意義なひとときになりました。

＜なわとび検定＞

3学期の体育はなわとびが行われています。

どの学年も一生懸命練習していました。

合格目指して頑張り！





<感謝の会に関する動画の公開について>

感謝の会につきましては、感染状況の悪化に伴い中止となり大変ご迷惑をおかけしました。当日予定していた発表等の動画を「学習支援サイト」に載せさせていただきましたのでぜひご覧下さい。みどりが丘小学校ホームページの<学校からのお知らせ>にある『鹿沼市小中学校学習支援サイト』をクリックしていただき、右上にあるログインボタンを押してIDとパスワードを入力いただくと、<メニュー>に「みどりが丘小学校」が表示されます。「令和3年度」→「学年共通」の中に、低・中・高学年で発表する予定であった動画がありますので、ご視聴ください。

また、ボランティア登録者の皆様におかれましては、先日お伝えしましたが、DVDの貸し出しも可能ですので、ご希望の場合は学校（65-4844）までご連絡ください。

よろしくお願いいたします。

離任式を3/30(火)に行います。5年生は通常登校。1年生～4年生と卒業生は、登校班で1時間遅れの登校となります。教職員の異動については、メールでお知らせします。

年度末、年度初め休業中の電話等の対応は、**8:05～16:35**になりますのでご承知おきください。なお、休日や時間外の緊急の連絡は、☎ **090-8506-3719** までお願いします。

<別れの季節>

3月は別れの季節。この時期になると、我が家のある出来事を思い出します。今から20年ほど前の話です……。

我が家にちょっとした別れがありました。8年間乗った車を買換えたのです。当時、息子は小学3年生、娘は小学1年生でした。ちょうど娘が生まれた頃買ったワゴン車。息子がなぜか『コウタ君』という名前をつけ、みんなで親しみを込めて呼んでいました。私の運転が荒いせい、結構故障がちで10万kmを超えたのを機に新車を買うことにしたのです。新しい車に子供たちも大喜びするだろうと思っていたのですが、子供たちの反応は意外でした。「ねえ、『コウタ君』はどうなっちゃうの？捨てられちゃうの？」と、寂しそうな娘。「大丈夫。またきれいに直して、他の人が乗るんだよ」と答えると、娘は安心した様子でした。納車の前日、それまで私も新しい車のことばかり考えていたのですが、大きな事故もなく8年間世話になった車に「今までありがとな！」とお礼をいい、帰宅するとテーブルの上にカードが2枚。『コウタ君へ』と書かれた子供たちからの手紙でした。車の中をきれいにした私は、ダッシュボードにこのカード2枚を入れました。

納車当日、販売員から新車の説明を受け、乗り心地のよさに子供たちも私も感動していた傍らで寂しそうにしている『コウタ君』に、いち早く気づいたのは娘でした。「ねえ、今度『コウタ君』に乗る人はどんな人？」「お手紙入れてくれた？」。走り去る『コウタ君』にいつまでも手を振っていた子供たちを見て、新車に喜んでいさすがの私もこのときばかりは淋しい気持ちになると同時に子供たちが愛しくなりました。このまま大人になってくれたらいいのに……。きっと子供の頃はこんなに純粋な気持ちでいられるのでしょう。

新車にも『コウタ君』と名前がつけられ、この車は18年も私たちに付き合ってくれました。実はこの『コウタ君』とは、2年前の台風19号のときに、さらに壮絶な別れがありました……。

あれから20年。子供たちも成人となりましたが、先日、この話をすると、何となく手紙を書いたことは覚えていたようでした。

子育てが大変時期ほど、宝物のような思い出が隠されているように思います。

